

商学部主催
商学研究科共催
産業研究所協賛

学術講演会

演題

株価、利益および資本簿価の経済的関係と会計慣行

講師：薄井 彰 氏

(早稲田大学商学大学院教授、日本経済会計学会会長)

日時：2019年11月29日(金) 2限(11:10~12:40)

会場：B号館 101号教室

主催：関西学院大学商学部

共催：関西学院大学商学研究科

協賛：産業研究所



講演要旨

金融経済学 (Financial Economics) の資産価格理論 (Asset Pricing Theory) の枠組みで、株価、利益および資本簿価の経済的関係を解説する。さらに、クリーンサープラス会計、保守主義原則や費用収益対応原則などの会計慣行を経済学的にどのようにモデリングするかを検討し、会計が資本市場の価格形成や利害調整に果たす役割を議論する。

講師紹介

早稲田大学商学部卒業。早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程を経て、早稲田大学より商学修士および博士(商学)を取得。法政大学経済学部教授等を経て、早稲田大学商学大学院教授。この間、コロンビア大学客員研究員およびオックスフォード大学客員研究員を歴任。現在、日本経済会計学会会長、日本会計研究学会評議員、国際会計研究学会理事等を務める。

著書は『会計制度の経済分析』(中央経済社, 2015年)、編著書は『金融サービスと会計』(中央経済社, 2012年)、『バリュエーションと会計』(中央経済社, 2011年)、『バリュー経営のためのM&A投資』(中央経済社, 2001年)等。学術論文多数。日経・経済図書文化賞、日本公認会計士協会学術賞、日本会計研究学会太田・黒澤賞、日本会計研究学会学会賞、日本経営分析学会学会賞、日本ディスクロージャー研究学会学会賞、国際会計研究学会学会賞、日本監査研究学会監査研究奨励賞、日本会計史学会賞等、多数の学術賞を受賞。